

令和 5(2023)年度
学生募集要項
入学案内
(出願書類添付)

小論文と面接 による特別選抜	出願期間	2023年 1月5日(木)～ 12日(木)
	検査日	2023年 1月21日(土)
	合格者発表日	2023年 1月25日(水)
学力検査 による選抜	出願期間	2023年 1月26日(木)～ 2月1日(水)
	検査日	2023年 2月12日(日)
	合格者発表日	2023年 2月16日(木)

大阪公立大学工業高等専門学校
Osaka Metropolitan University College of Technology

〒572-8572 大阪府寝屋川市幸町 26 番 12 号

電話 072-821-6401 (代表)

FAX 072-821-0134 (代表)

ホームページ <https://www.ct.omu.ac.jp>

目 次

大阪公立大学工業高等専門学校 学生募集要項

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
II 募集人員	1
III 選抜方法	2
小論文と面接による特別選抜	2
学力検査による選抜	5
IV 中学校の先生方へ	9
V 小論文と面接に関する補足説明	11
記入例.....	12

大阪公立大学工業高等専門学校 本科入学案内

1 本校の設置	16
2 入学定員	16
3 修業年限	16
4 養成する人材像	16
5 総合工学システム学科	16
6 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)	16
7 卒業認定方針(ディプロマ・ポリシー)	18
8 入学料及び授業料等	19
9 教育費等支援制度	19

出願書類用紙

小論文と面接による特別選抜

- 入学志願書【様式1】(裏面あり)
- 自己申告書【様式2】
- 入学確約書【様式3】
- 推薦書【様式4】
- 調査書【様式5】

学力検査による選抜

- 入学志願書【様式6】(裏面あり)
- 調査書【様式7】

2023年度 大阪公立大学工業高等専門学校 学生募集要項

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

◎求める人材像

本校は次のような興味と資質や能力をもった入学生を求めています。

(1)興味・関心

- ものづくりに興味・関心のある人
- 情報通信・地球環境・エネルギー問題に興味・関心のある人

(2)資質・性格

- 何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
- 多様な価値観を理解して行動できる人

(3)能力

- 数学・理科・英語・技術が得意な人

◎入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、「小論文と面接による特別選抜」と「学力検査による選抜」の2種類の方法で行います。それぞれの選抜で重視される項目は以下の通りです。

小論文と面接による特別選抜

- ① 中学校での基礎学力が備わっていること
- ② 技術や科学に興味・関心があること
- ③ 何事にも積極的に取り組めること
- ④ 多様な価値観を理解できること

学力検査による選抜

- ① 中学校での基礎学力が備わっていること
- ② 数学・理科・英語・技術が得意なこと

II 募集人員

総合工学システム学科 160名

Ⅲ 選抜方法

選 抜 区 分	検 査 日	選 抜 人 数	詳 細
小論文と面接による特別選抜※ ¹	2023年 1月21日(土)	80名	P2～P5
学力検査による選抜※ ²	2023年 2月12日(日)	80名※ ³	P5～P8

※1 「小論文と面接による特別選抜」に出願できるのは、在籍する中学校の校長が推薦する者に限りま
す。

※2 「学力検査による選抜」の解答方法はマークシート形式です。ただし、交通事情等不測の事態が発
生した場合にはマークシート形式ではない検査問題となることがあります。

※3 「小論文と面接による特別選抜」の合格者数が募集人員を下回る場合は、「学力検査による選抜」に
おいて総募集人員(160名)を満たすように合格者を決定します。

小論文と面接による特別選抜

1 募集人員

総合工学システム学科 80名

2 出願資格

「小論文と面接による特別選抜」に出願できる者は、次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。

(1)2023年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程(以下「中学
校」という。)を卒業又は修了見込みの者

(2)在籍する中学校の校長が推薦する者

(3)調査書の学習の記録欄(5段階評価)において、第3学年の全教科の評定合計が36以上かつ数学、理
科、英語、技術・家庭の4教科の合計が18以上の者

(4)本校入学の意志が確実で、本校の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿う、本校の学生にふさわ
しい能力・特性を有する者

(5)本人及び保護者(本人に対して親権を行う者であって、原則として父母。父母のいずれかがない場合は父
又は母、親権を行う者がいない場合は後見人。以下同じ。)の住所が大阪府内にある者、又は転居などに
より、2023年3月31日までに本人及び保護者の住所(注:住所とは住民登録されている居所のことです。
以下同じ。)が大阪府内となる者

なお、大阪府外の中学校を卒業(見込み)又は修了(見込み)の者並びに本人又は保護者の住所が大阪府
外である者については、出願資格の審査をさせていただきます。詳しくは「4 出願手続上の注意事項」の
(1)をご覧ください。

3 出願手続

(1)入学志願者は、次の書類等を所定の封筒(募集要項に同封のもの、角形2号)を使用し、本校に簡易書留
で郵送してください。なお、本校への持参は原則として認めません。

- ・ 入学志願書(小論文と面接による特別選抜用)【様式1】

- ・自己申告書【様式 2】 自己申告書は、原則として、入学志願者の自筆とします。
- ・入学検定料

本校所定の入学検定料払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料 16,500 円をあらかじめ納入し、受付局日附印が押印された振替払込受付証明書(お客さま用)を入学志願書の裏面に貼り付けて提出してください。

- ・受験票返信用封筒

所定の封筒(募集要項に同封のもの、長形 3 号)に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、返信用切手 344 円分(定形郵便物 84 円、速達料 260 円)を貼付してください。

・出願期間(郵送のみ)	2023 年 1 月 5 日(木)～1 月 12 日(木)必着
・送付先	〒572-8572 大阪府寝屋川市幸町 26 番 12 号 大阪公立大学工業高等専門学校 学務課

(2)入学志願者が在籍する中学校の校長は、次の書類を 2023 年 1 月 12 日(木)までに(必着) 本校 学務課 入試担当 宛に簡易書留・速達でご送付ください。書類作成要領については、「IV 中学校の先生方へ」をご参照ください。

- ・入学確約書【様式 3】
- ・推薦書【様式 4】
- ・調査書(小論文と面接による特別選抜用)【様式 5】

※調査書等に伴う受領書の発行は省略しています。

4 出願手続上の注意事項

(1)大阪府外の中学校を卒業又は修了する見込みの方並びに本人又は保護者の現住所が大阪府外である方については、事前に出願資格を審査させていただきますので、以下の手順に従ってください。

- ① 2022 年 12 月 1 日(木)から 2022 年 12 月 16 日(金)までに、本校に電話でお問い合わせください。事情をお伺いした上で、「入学志願特別事情申告書」等、審査に必要な提出書類をお示しします。
- ② 2023 年 1 月 5 日(木)から 2023 年 1 月 10 日(火)の午前 10 時 30 分から午後 4 時までの間に、①でお示した書類を本校まで持参してください。書類を審査し、問題がなければ、「入学志願特別事情申告書」に出願承認印を押印します。なお、ご来校日時を必ず電話予約してください。
- ③ 出願承認印のある「入学志願特別事情申告書」を添えて出願してください。

(2)身体の障がいや病気、けが等の理由により、受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、入学志願者が在籍する中学校から 2022 年 12 月 9 日(金)までに申し出てください。

5 小論文検査と面接

選抜のための小論文検査と面接を行います。

- (1)日時 2023 年 1 月 21 日(土)午前 9 時 10 分から(午前 8 時 30 分集合)
- (2)場所 大阪公立大学工業高等専門学校
- (3)小論文*の題は、科学技術に対する興味、関心等を評価することを主眼とします。

(4)面接※は、集団面接形式で行います。

(5)小論文検査と面接の実施時間割は、次のとおりとします。

時 限	内 容	時 間
第1時限	小論文検査	9:10～10:00(50分)
第2時限	面 接	10:30 から班ごとに実施

※ 小論文と面接に関しては、「Ⅴ 小論文と面接に関する補足説明」もご参照ください。

6 選考方法

入学者の選考は、自己申告書、調査書、小論文、面接を総合して行います。調査書成績(130点満点。ただし、第3学年、第2学年及び第1学年の評定を3:1:1の比率で評価する。)、小論文成績(80点満点)、面接成績(30点満点)の合計を総合成績(240点満点)とし、小論文成績27点以上かつ面接成績10点以上の者の中で、総合成績の高い者から募集人員に当たる者までを合格とします。

なお、合格者数が募集人員を下回る場合は、「学力検査による選抜」において総募集人員を満たすよう合格者を決定します。

総合成績		240点
内 容	調査書	130点※
	小論文	80点
	面接	30点

※調査書成績については、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)にもとづき、科目による重み付けをします。

7 合格者の発表

合格者の発表は、2023年1月25日(水)午前10時に、大阪公立大学工業高等専門学校において行います。本校ホームページ上でも速報として掲載しますが、本校での掲示が正式なものです。また、在籍する中学校の校長宛に速達郵便で発送します。入学志願者へは、直接通知しません。電話等による問い合わせにも一切応じません。

合格となった者は必ず本校へ入学しなければなりません。大阪府公立高等学校入学者選抜等に出願することはできません。

合格とならなかった者のうち、あらかじめ入学志願書の「学力検査による選抜の受験希望」欄を「あり」とした者は、「学力検査による選抜」を受けることができます。この場合、新たな手続き(書類の再提出、入学検定料の再納付等)は一切必要ありません。2023年2月12日(日)に実施する学力検査を受験してください。学力検査当日は、「小論文と面接による特別選抜」の受験票を持参してください。

事情によりやむを得ず、「学力検査による選抜」を欠席する場合は、入学志願者が在籍する中学校から文書でその旨ご連絡をお願いいたします。

なお、入学手続きに必要な書類は、入学志願書に記載の志願者住所宛てに、2023年2月上旬までに送付します。

8 その他

- (1)入学志願書の送付後は、入学検定料及び書類は一切返還しません。
- (2)出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日及び住所その他の個人情報、適切に管理し、入学者選抜、合格者発表、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成以外には使用しません。出願後、住所・電話番号等に変更があった場合は、すみやかに届け出てください。
- (3)入学者の試験成績(調査書を含む)は、本校における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (4)この要項に対する違反又は虚偽、不正が判明した場合は、当該学生の入学を取り消す場合があります。
- (5)選考内容及び不合格の理由等については、お答えできません。
- (6)検査日当日のお車でのご来校は、ご遠慮ください。公共交通機関をご利用してください。

9 問い合わせ先

大阪公立大学工業高等専門学校 学務課 電話 072-820-8578

学力検査による選抜

1 募集人員

総合工学システム学科 80名

2 出願資格

「学力検査による選抜」に出願できる者は、

- (1)2023年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
- (2)中学校を卒業又は修了した者
- (3)中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条に該当する者)のいずれかであって、次の①と②の両方、あるいは①と③の両方に該当する者とします。

①本校入学の意志が確実である者

②本人及び保護者(本人に対して親権を行う者であって、原則として父母。父母のいずれかがない場合は父又は母、親権を行う者がいない場合は後見人。以下同じ。)の住所が大阪府内にある者、または転居などにより、2023年3月31日までに本人及び保護者の住所(注:住所とは住民登録されている居所のことです。以下同じ。)が大阪府内となる者

なお、大阪府外の中学校を卒業(見込み)又は修了(見込み)の者並びに本人又は保護者現住所が大阪府外である者については、出願資格の審査をさせていただきます。詳しくは「4 出願手続上の注意事項」の(1)をご覧ください。

③出願時において本人及び保護者の住所が大阪府外にありかつ 2023年4月1日以降も引き続き大阪府外の住居からの通学を希望する者(府外枠受験)

ただし、府外枠受験の合格者数の上限は 16 名です。なお、出願資格の審査はありませんので、入学志願書(様式6)の「府外枠受験を希望する」欄に○を記入ください。

3 出願手続

(1)入学志願者は、次の書類等を所定の封筒(募集要項に同封のもの、角形 2 号)を使用し、本校に簡易書留で郵送してください。本校への持参は原則として認めません。ただし、「小論文と面接による特別選抜」で合格とならなかった者で、あらかじめ入学志願書の「学力検査による選抜の受験希望」欄を「あり」とした者は、あらためて出願する必要はありません。

入学志願者全員

- ・ 入学志願書(学力検査による選抜用)【様式 6】
- ・ 入学検定料

本校所定の入学検定料払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料 16,500 円をあらかじめ納入し、受付局日附印が押印された振替払込受付証明書(お客さま用)を入学志願書の裏面に貼り付けて提出してください。

- ・ 受験票返信用封筒

所定の封筒(募集要項に同封のもの、長形 3 号)に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、返信用切手 344 円分(定形郵便物 84 円、速達料 260 円)を貼付してください。

過年度卒業者のみ

- ・ 本人及び保護者(父母の場合は両方)の住民票の写し又はこれに代わる証明書

・出願期間(郵送のみ)	2023年1月26日(木)～2月1日(水)必着
・送付先	大阪府寝屋川市幸町 26 番 12 号 大阪公立大学工業高等専門学校 学務課

(2)入学志願者が在籍する中学校の校長は、次の書類を 2023年2月1日(水)までに(必着)本校 学務課 入試担当 宛に簡易書留・速達でご送付ください。

- ・ 調査書(学力検査による選抜用)【様式7】

※「小論文と面接による特別選抜」を受験した入学志願者については、改めて送付いただく必要はありません。

※調査書に伴う受領書の発行は省略しています。

4 出願手続上の注意事項

(1)大阪府外の中学校を卒業(見込み)又は修了(見込み)の方並びに本人又は保護者の現住所が大阪府外である方については、事前に出願資格を審査させていただきますので、以下の手順に従ってください。

- ① 2022年12月1日(木)から2022年12月16日(金)までに、本校に電話で問い合わせください。事情をお伺いした上で、「入学志願特別事情申告書」等、審査に必要な提出書類をお示しします。

② 2023年1月26日(木)から2023年1月30日(月)の午前10時30分から午後4時まで(土曜日、日曜日を除く。)の間に、①で示した書類を本校まで持参してください。書類を審査し、問題がなければ、「入学志願特別事情申告書」に出願承認印を押印します。なお、ご来校日時を必ず電話予約してください。

③ 出願承認印のある「入学志願特別事情申告書」を添えて出願してください。

(2) 身体の障がいや病気、けが等の理由により、受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、入学志願者が在籍する中学校から2023年1月13日(金)までに申し出てください。

5 学力検査

選抜のための学力検査を行います。

(1) 日時 2023年2月12日(日)午前9時30分から(午前8時35分集合)

(2) 場所 大阪公立大学工業高等専門学校

(3) 学力検査の問題は、数学、理科、英語、国語、社会について、高等専門学校教育を受けるのに必要な基礎的学力を検査します。

(4) 学力検査の実施時間割並びに配点は、次のとおりです。

時限	検査教科	時間	配点 [※]
第1時限	理科	9:30~10:20(50分)	150点
第2時限	英語	10:50~11:40(50分)	150点
第3時限	数学	12:10~13:00(50分)	150点
第4時限	国語	13:50~14:40(50分)	100点
第5時限	社会	15:10~16:00(50分)	100点

※配点は、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)による重み付けをしています。

(5) 追試験の実施について

新型コロナウイルス感染症に罹患またはその疑いにより、学力検査を受験できなかった者を対象に、2023年2月26日(日)に追試験を実施します。詳細は決定次第本校 Web ページに掲載します。

6 選考方法

入学者の選考は、次のように行います。

(1) 学力検査 5 教科の成績(650 点満点)に、調査書中の必修教科の各評定を 10 倍して合計した成績(450 点満点。ただし、第 3 学年、第 2 学年及び第 1 学年の評定を 3:1:1 の比率で評価する。)を加えたものを総合成績(1100 点満点)として選考します。

総合成績		1100 点
内 容	調査書	450 点
	学力検査	650 点

(2) 総合成績の高い者から、募集人員の 120%に当たる者までを合格者候補とします。

(3) 合格者候補の中で、総合成績の高い者から募集人員の 80%に当たる者までを合格とし、残りの者をボーダーゾーンとします。

- (4)ボーダーゾーンの中で、学力検査の成績の高い者から募集人員を満たすよう合格者を決定します。
ただし、府外枠受験の合格者数の上限は16名です。また、「小論文と面接による特別選抜」の合格者数が募集人員を下回った場合は、本選抜において総募集人員を満たすよう合格者を決定します。

7 合格者の発表

合格者の発表は、2023年2月16日(木)午後1時に、大阪公立大学工業高等専門学校において行います。本校ホームページ上でも速報として掲載しますが、本校での掲示が正式なものです。電話等による問い合わせには一切応じません。

合格した者は、必ず本校へ入学しなければなりません。大阪府公立高等学校一般入学者選抜等に出願することはできません。

なお、入学手続きに必要な書類は、入学志願書に記載の志願者住所宛てに、2023年2月下旬までに送付します。

8 その他

- (1)入学志願書の送付後は、入学検定料及び書類は一切返還しません。
- (2)出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所その他の個人情報、適切に管理し、入学者選抜、合格者発表、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成以外には使用しません。出願後、住所・電話番号等に変更があった場合は、すみやかに届け出てください。
- (3)入学者の試験成績(調査書を含む)は、本校における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (4)この要項に対する違反又は虚偽、不正が判明した場合は、当該学生の入学を取り消す場合があります。
- (5)選考内容及び不合格の理由等については、お答えできません。
- (6)検査日当日のお車での来校は、ご遠慮ください。公共交通機関を利用してください。

9 問い合わせ先

大阪公立大学工業高等専門学校 学務課 電話 072-820-8578

IV 中学校の先生方へ

1 進学指導上の留意事項

- (1) 志願が適切なものとなるように、入学志願者の適性を十分把握していただくとともに、工業高等専門学校についての認識を深めさせてください。本校の各種広報媒体(「学校案内」、ホームページ等)をご活用いただくとともに、本校キャンパスにて実施する学校説明会、体験入学、高専祭等への参加も奨励していただければと存じます。
- (2) 障がいや健康状態などにより、修学上の配慮が必要と考えられる入学志願者については、事前に本校に相談してください。
- (3) 「学力検査による選抜」に出願した者は、大阪府公立高等学校特別入学者選抜等との併願はできません。
- (4) 本入学者選抜の合格者は、大阪府公立高等学校一般入学者選抜等に出願できません。

2 書類作成上の全般的留意事項

- (1) 調査書【様式 5、7】については、ダウンロードしてご利用いただける様式を本校ホームページに掲載します。
- (2) 文字は原則として常用漢字及び現代仮名遣いを用い、楷書で分かりやすく記入してください。必要に応じてゴム印を使用しても構いません。
- (3) 記入事項のないときは、該当欄に斜線を引いてください。
- (4) 該当文字を選択する場合は○で囲んでください。
- (5) 校長氏名欄の印は、公印を押印してください。
- (6) 書類はホチキス止めしないでください。
- (7) 入学志願書【様式 1】の第 3 学年の全教科評定合計と第 3 学年の 4 教科評定合計※ 欄に記された値が、推薦書【様式 4】及び調査書【様式 5】の第 3 学年の全教科の評定合計と第 3 学年の 4 教科の評定合計※ 欄の値と一致していることを確認してください。
※ 4 教科は数学、理科、英語、技術・家庭です。

3 推薦書【様式 4】

- (1) 推薦理由はできるだけ詳細に記入してください。
- (2) 第 3 学年の全教科評定合計及び第 3 学年の 4 教科の評定合計は、調査書の第 3 学年の全教科の評定合計及び第 3 学年の 4 教科の評定合計と一致することを確認してください。

4 調査書(小論文と面接による特別選抜用)【様式 5】

(1) 「各教科の学習の記録」欄

- ① 評定については、第 1 学年、第 2 学年及び第 3 学年について、それぞれ記入してください。第 3 学年については、2022 年 12 月末日をもって作成してください。
- ② 大阪府内の中学校においては、「評定」欄に第 1 学年、第 2 学年及び第 3 学年における必修の全教科について、大阪府教育委員会の示す「令和 5 年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書評定の府内統一ルール」に基づいた 5、4、3、2、1 の 5 段階の表示で記入してください。
- ③ 一部の教科が評定できない場合には、当該教科の評定欄に「—」を記入してください。

- ④ 他府県の中学校を卒業する見込みの者については、上記①の方法及び当該府県立高等学校入学者選抜実施要項等で定める基準に基づいて評定を記入してください。
- ⑤ 調査書の各教科の学習の記録を 5 段階で記述できない場合は、2022 年 12 月 9 日(金)までに本校へ電話で必ず相談してください。

(2)「活動/行動の記録」欄

各教科の学習、選択教科、総合的な学習の時間、特別活動及び性格行動等について、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の優れた点や長所を積極的に評価し、その特質を明らかにすると思われる事項を具体的かつ簡明に記入してください。箇条書きでも構いません。

5 調査書(学力検査による選抜用)【様式 7】

(1)「各教科の学習の記録」欄

- ① 評定については、第 1 学年、第 2 学年及び第 3 学年について、それぞれ記入してください。第 3 学年については、2022 年 12 月末日をもって作成してください。
- ② 大阪府内の中学校においては、「評定」欄に第 1 学年、第 2 学年及び第 3 学年における必修の全教科について、大阪府教育委員会の示す「令和 5 年度大阪府公立高等学校入学者選抜における府内統一ルール」に基づいた 5、4、3、2、1 の 5 段階の表示で記入してください。
- ③ 大阪府教育委員会の示す「府内統一ルール」に基づいて評定できない場合には、当該教科の評定欄に「―」を記入してください。

(2)「評定」欄及び「評定の段階」欄

他府県の中学校を卒業した者又は卒業する見込みの者については、原則として当該府県立高等学校入学者選抜実施要項等で定める基準に基づいて作成した評定を「評定」欄に、評定の段階を「評定の段階」欄に、それぞれ記入してください。

(3)「活動/行動の記録」欄

各教科の学習、選択教科、総合的な学習の時間、特別活動及び性格行動等について、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の優れた点や長所を積極的に評価し、その特質を明らかにすると思われる事項を具体的かつ簡明に記入してください。箇条書きでも構いません。

V 小論文と面接に関する補足説明

(1)小論文

小論文では、受験生が技術や科学にどのような興味・関心を持っているのかを評価するとともに、正しい日本語で論理的な文章を書くことができるかを確認します。

- ・小論文の分量は600字程度です。出題の意図に沿って450字以上の記入が望まれます。
- ・原稿用紙を正しく使用しているか、誤字・脱字がないか、小中学校で習う常用漢字が正しく使われているかについても確認します。
- ・小論文で書かれている技術や科学の内容が正しいか否かについては、原則として評価しません。ただし、小中学校で習う事象等に明らかに矛盾するような非科学的な内容を元に小論文が構成されているような場合は、減点の対象となる場合があります。
- ・インターネットの発達により容易に情報を得ることができますが、中には疑わしいものや明らかに科学的常識に反する偽情報が含まれている場合がありますので、学習の際に参考にする場合は十分に注意してください。

(2)面接

面接では、技術や科学への興味・関心、物事への取り組み姿勢、多様な価値観の理解を評価するとともに、適切なコミュニケーションを取ることができるかを確認します。

- ・面接は原則として5名の集団面接です。なお、受験者数により3あるいは4名となる面接グループもあります。また、事情(受験する際に特別の配慮を必要とする場合など)により別室での受験となった場合は、1名での面接となる場合もあります。
- ・面接員と受験生の距離は、おおよそ3m離れています。質問に答える際は、面接員に声が十分に届くよう心がけてください。
- ・受験生全員に同じ質問を行います。答えてもらう順番は原則として受験番号の若い順ですが、質問によっては順番を変える場合もあります。
- ・面接時間は1グループで15分程度を予定しています。
- ・質問に対する回答は、質問の意図をよく考え、30秒程度を目安としてください(回答を途中で打ち切ることにはしませんが、長くとも1分以内でお願いします)。
- ・質問に対する回答には、自己申告書に記載した内容を踏まえ、受験者のこれまでの経験・体験等の具体的なエピソード等が含まれていると良いでしょう。

記入例
小論文と面接による特別選抜

【様式1】表

小論文と面接による特別選抜

受験番号
(記入不要)

志願書作成日を記入

入学志願書

◇◇◇◇年 ○月 △△日

大阪公立大学工業高等専門学校長 様

本人氏名 高専 翼 (自署)

保護者氏名 高専 一輝 (自署)

大阪公立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科
第1学年への入学を志願します。

写真欄

- 1 縦4.5cm～5cm、横3.5cm～5cmを原則とする。
- 2 上半身、正面、無帽
- 3 最近3か月以内の撮影によるものをはりつける。
- 4 白黒、カラーを問わない。

写真を貼付する

本人	ふりがな <u>こうせん つばさ</u> 氏名 <u>高専 翼</u>	現住所 〒 <u>000-0000</u> <u>大阪府〇〇市△△ 0-00-00</u> (電話 <u>00 - 0000-0000</u>)
	西暦 <u>2007</u> 年 <u>11</u> 月 <u>22</u> 日生	(電話 <u>00 - 0000-0000</u>)
	<u>〇〇立△△△△</u>	中学校 西暦 <u>2023</u> 年 <u>3</u> 月 卒業見込み
保護者	ふりがな <u>こうせん かずき</u> 氏名 <u>高専 一輝</u>	本人との関係 (<u>父</u>) 現住所 〒 <u>000-0000</u> <u>大阪府〇〇市△△ 0-00-00</u> (電話 <u>00 - 0000-0000</u>)
	学力検査による選抜の受験希望	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
		第3学年の全教科評定合計
		第3学年の4教科評定合計

「志願者と同じ」も可

記入上の注意

- 1 文字は原則として常用漢字及び現代仮名遣いを用い、楷書でわかりやすく書くべきにする。
- 2 生年月日、卒業見込みの年を西暦で記入する。
- 3 「学力検査による選抜」の受験希望は「あり」を選択する。
- 4 「第3学年の全教科評定合計」と「第3学年の4教科評定合計」は18以上が必要である。
- 5 中学校等コード番号は大阪府公立中学校を卒業見込みの者についてのみ大阪府教育委員会のコード表の該当する番号を記入する。

いずれかを○で囲む

中学校記入欄

出身中学校所在地 〒 _____ (電話 - -)

中学校名 _____

校長氏名 _____ 印 _____

中学校等コード番号

--	--	--	--

記入例
小論文と面接による特別選抜

本校所定の入学検定料払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料16,500円をあらかじめ納入し、受付局日附印が押印された振替払込受付証明書（お客さま用）を下の貼付欄に貼り付けてください。

入学検定料は、学力検査による選抜受験希望の有無にかかわらず、16,500円です。なお、納入された検定料は、入学志願書の提出後はいかなる理由があっても返還できません。

振替払込受付証明書(お客さま用) (ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人)								
口座記号 番号	00940-0-163917							
加入者名	公立大学法人大阪							
払込金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				1	6	5	0	0
ご依頼人 住所氏名	<small>〒</small> 大阪府〇〇市△△ 0-00-00							
	高専 翼 <small>(おなまは出願者氏名を記入)</small>							

貼付用

領収
日付印

志願者の住所と氏名を記入

(承認番号大証第814号)

記入例
学力検査による選抜

【様式6】表

学力検査による選抜

受験番号
(記入不要)

入学志願書

志願書作成日を記入

◇◇◇◇年 ○月△△日

大阪公立大学工業高等専門学校長 様

本人氏名 高専 翼 (自署)
保護者氏名 高専 一輝 (自署)

写真欄

- 1 縦4.5cm～5cm、横3.5cm～5cmを原則とする。
- 2 上半身、正面、無帽とする。
- 3 最近3か月以内の撮影によるものをはりつける。
- 4 白黒、カラーを問わない。

写真を貼付する

大阪公立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科
第1学年への入学を志願します。

本人	ふりがな	こうせん つばさ	現住所 〒000-0000
	氏名	高専 翼	大阪府〇〇市△△
	西暦	2007年11月22日生	(電話 00 - 0000 - 0000)
保護者	ふりがな	こうせん かずき	本人との関係 (父)
	氏名	高専 一輝	現住所 〒000-0000 大阪府〇〇市△△ 0-00-00
			(電話 00 - 0000 - 0000)

該当する方を○で囲む

「志願者と同じ」も可

府外枠受験を希望する

記入上の注意

- 1 文字は原則として常用漢字及び現代仮名遣いを用い、横書きでわかりやすく書き添える。
- 2 生年月日、卒業または卒業見込みの年月日
- 3 本人欄の中学校「卒業」「卒業見込み」は、卒業または卒業見込みの年月日
- 4 中学校等コード番号は大阪府公立中学校等コード番号(中学校卒業見込みの者も含む)を記入する。

府外枠受験を希望する場合は○

中学校記入欄

出身中学校所在地 (電話 - -)

中学校名

校長氏名

印

中学校等コード番号

--	--	--	--

記入例
学力検査による選抜

【様式6】裏

本校所定の入学検定料払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料16,500円をあらかじめ納入し、受付局日附印が押された振替払込受付証明書（お客さま用）を下の貼付欄に貼り付けてください。

なお、納入された検定料は、入学志願書の提出後はいかなる理由があっても返還できません。

振替払込受付証明書(お客さま用) (ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人)								
口座記号 番号	00940-0-163917							
加入者名	公立大学法人大阪							
払込金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				1	6	5	0	0
ご依頼人 住所氏名	<small>〒</small> 大阪府〇〇市△△ 〇-〇〇-〇〇 高 専 翼 <small>(おなまえは正誤書氏名を記入)</small>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">貼付用</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 領収 日付印 </div>								
(承認番号大証第814号)								

志願者の住所と氏名を記入

大阪公立大学工業高等専門学校 本科入学案内

1 本校の設置

1963年4月

2 入学定員

総合工学システム学科 160名

3 修業年限

修業年限 5年

4 養成する人材像

- ・「進取」の気性を持って常に専門性を高められる技術者
- ・学び考えたことを積極的に「実践」できる技術者
- ・「共生」の視点で社会に貢献できる技術者

5 総合工学システム学科

総合工学システム学科は2005(平成17)年度より始まりましたが、2022(令和4)年度よりIoTやAI等の科学技術の進歩など、社会の変化や要請に応じていくとともに、大阪の成長、発展に資する人材を育成するため、新たに「専門共通科目」、「応用専門分野」科目を設置し、これまでよりカリキュラムの充実を図るとともに、あわせて基盤コース専門科目もこれまでの5コースから、電子情報系、機械系に特化した4コースに再編します。

- ・1年次は全コースに共通する一般科目(英語や基礎数学等)及び専門共通科目(情報など)を学習します。
- ・2年次からエネルギー機械、プロダクトデザイン、エレクトロニクス、知能情報の4つの基盤コースに分かれて、専門知識と技術を習得します。
- ・3年次から専門知識に加え、幅広い分野を「応用専門分野」科目として提供し、学生の興味関心を広げ、将来を見据え、職業に対する意識を醸成します。
- ・ICT及びSDGs指向の「専門共通科目」は全コースで共通して学習し、社会を支える技術者、社会人としての基本的素養と人間性を養います。

6 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

本校は、その教育理念と養成する人材像のもと、次の方針で教育課程を編成します。

総合工学システム学科共通の教育課程

- ・一般科目に加えて、ICT指向とSDGs指向の専門共通科目を開講することにより、産業社会を支える技術者および社会人としての基本的素養と人間性を養う。
- ・2年次からは機械系または電子情報系の4つの基盤コースのいずれかに学生を配属し、それぞれのコースで必須の専門知識と技術を教授する。
- ・3年次からは基盤コースで修得した専門知識と技術の活用を将来の職業像として意識するための応用専門分野を設定し、医療福祉、化学、バイオテクノロジー、環境分析、環境デザイン、社会基盤、防災などの幅広い科目を社会の状況に合わせて提供し、異なるバックグラウンドを持つ学生が協力し

て取り組む PBL 科目を展開する。

2年次以降で展開するそれぞれの基盤コースでは、次の方針で教育課程を編成します。

エネルギー機械コースの教育課程

エネルギー機械コースでは、機械設計系、エネルギー系および計測制御系からなる機械工学とエネルギー工学関連の知識と技術について、工学的な基礎知識から産業への応用までを視野に入れて体系的・効率的に修得できるように 2～5 年次の講義科目を配置しています。また、講義科目で学んだ知識と技術について理解を深化・定着させるとともに、それを活用した実践的な設計、製作、解析および評価を他者と協働して取り組む経験と能力を養うために各学年に実験実習科目を配置しています。さらに、課題の解決プロセスとその成果を表現する能力を身につけることを目的に 5 年次に卒業研究を配置しています。

プロダクトデザインコースの教育課程

プロダクトデザインコースでは、基礎力学系、製品設計系、メカトロニクス系および生産設計系からなる機械工学と生産工学関連の知識と技術について、工学的な基礎知識から産業への応用までを視野に入れて体系的・効率的に修得できるように 2～5 年次の講義科目を配置しています。また、講義科目で学んだ知識と技術について理解を深化・定着させるとともに、それを活用した実践的な設計、製作、解析および評価を他者と協働して取り組む経験と能力を養うために各学年に実験実習科目を配置しています。さらに、課題の解決プロセスとその成果を表現する能力を身につけることを目的に 5 年次に卒業研究を配置しています。

エレクトロニクスコースの教育課程

エレクトロニクスコースでは、電気電子工学系、電子材料・電気化学系および計測技術・制御技術系からなる電気電子工学関連の知識と技術について、工学的な基礎理論から産業応用までを体系的・効率的に修得できるように 2～5 年次の講義科目を配置しています。また、講義科目で学んだ知識と技術について理解を深化・定着させるとともに、それを活用した実践的な設計、実装、解析および検証を他者と協働して取り組む経験と能力を養うために各学年に実験実習科目を配置しています。さらに、課題の解決プロセスとその成果を表現する能力を身につけることを目的に 5 年次に卒業研究を配置しています。

知能情報コースの教育課程

知能情報コースでは、ソフトウェア系、ハードウェア系および応用情報科学系からなる情報工学関連の知識と技術について、数学的な基礎理論から産業応用までを体系的・効率的に修得できるように 2～5 年次の講義科目を配置しています。また、講義科目で学んだ知識と技術について理解を深化・定着させるとともに、それを活用した実践的な設計、実装、解析および検証を他者と協働して取り組む経験と能力を養うために各学年に実験実習科目を配置しています。さらに、課題の解決プロセスとその成果を表現する能力を身につけることを目的に 5 年次に卒業研究を配置しています。

7 卒業認定方針(ディプロマ・ポリシー)

本校は、機械系と電子情報系の高い専門知識を身につけ、かつ地域と社会からの要請と自分が必要な役割を認識し、自分と社会のより良いあり方を探求できる技術者を育成します。そのため、以下に示す能力を修得し、規定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

総合工学システム学科において卒業の認定を受ける学生が修得すべき能力

【DP-A】豊かな教養をもとに、共生社会の実現を探求し行動する能力

【DP-B】数学、自然科学および情報技術の基礎知識およびそれらを活用する能力

【DP-C】産業社会における自分の役割を認識し、そこで活躍するためのコミュニケーション能力

【DP-D】自己の基盤となる専門分野について実践的な知識と技術[※]を修得し、工学的諸問題に適用する能力

【DP-E】社会の変化に関心を持ち、専門分野と周辺領域について主体的・継続的に学習する姿勢と能力

※各基盤コースにおいて修得すべき知識と技術

<エネルギー機械コース>

- ・エネルギー創出システムをはじめとする機械をシミュレーションや工作機械により設計・製作し、その機能や性能を検証する実践的能力
- ・機械設計系、エネルギー系および計測制御系からなる機械工学関連の専門知識

<プロダクトデザインコース>

- ・最新のものづくりに不可欠なデジタルエンジニアリング技術(CAD/CAM/CAE/CNC)を利用した製品の設計製作を行い、その付加価値を多角的に評価し考察する実践的能力
- ・基礎力学系、製品設計系、メカトロニクス系および生産設計系からなる設計生産工学関連の専門知識

<エレクトロニクスコース>

- ・電気・電子回路を理論に基づいて自ら設計・製作し、計測・制御技術を用いることで材料の特性や電気・電子機器の動作を評価し考察する実践的能力
- ・電気・電子回路系、電子材料系および計測・制御系からなる電気電子工学関連の専門知識

<知能情報コース>

- ・情報工学の理論と要素技術に基づきシステムを設計・実装し、仕様に沿って機能や性能を検証する実践的能力
- ・ソフトウェア系、ハードウェア系および応用情報科学系からなる情報工学関連の専門知識

8 入学料及び授業料等

(1)入学料 84,600 円

(2)授業料 年額 234,600 円(2 期分納)

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3)諸費 年額 約 30,000 円(2022 年度参考)

※その他教科書代等(別途通知)の支払いがあります。

ノート PC 必携化について

2022 年度から始まったカリキュラムでは、IoT や AI 等の科学技術の進歩や社会の変化と要請に応えられる内容を準備しています。課題レポートの作成などコンピューターの活用を求める科目が増加し、学校での授業や実験実習の中でも積極的に使用します(低学年から高学年にかけて徐々に使用機会が増える予定です)。そのため、学修用個人ノートパソコン(以下、ノート PC)の準備をお願いすることになりました。1 年次の 1 年間については、希望する学生全員に学校からノート PC を貸与します。2 年生へ進級するタイミングで各ご家庭で個人ノート PC を準備していただくこととなります。なおノート PC の推奨スペックは入学後にお知らせいたします。

9 教育費等支援制度

(1)国や大阪府の高等学校等就学支援金制度や、高等教育の修学支援新制度等、本校で安心して学べる制度があります。

(2)学業・人物ともに優れ、かつ学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人が申請した各種奨学金団体・機構での選考のうえ、一定額の資金が貸与又は給付される制度があります。